

12月定例議会の概要

原油価格・物価高騰対策をはじめとした 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第6号）など22議案を可決

12月定例議会を、11月24日から12月21日までの28日間の期間で開催しました。

まず、初日の11月24日には、議員定数及び報酬検証特別委員長から調査結果の報告がありました。次に、「令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第6号）」の議案が市長から提出され、提案説明の後、提出議案を予算決算委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、予算決算委員長から付託議案について審査結果の報告があった後、採決の結果、可決しました。続いて、「令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第7号）」など18件の議案が市長から提出され、提案説明が行われました。

12月2日には、提出議案に対する質疑を行い、2日、5日、6日、7日、8日には、19名の議員が一般質問を行いました。

8日には、議案18件を各委員会に付託しました。また、「インボイス制度（適格請求書等保存方式）の再考を求める請願書」の請願を総務委員会に付託しました。

8日、12日、13日、16日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の21日には、各委員長から付託議案について審査結果の報告があり、2名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案18件はいずれも可決しました。次に、請願について総務委員長から審査結果の報告があり、3名の議員が討論を行った後、採決の結果、不採択としました。続いて、「令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第8号）」の議案が市長から追加提出され、提案説明の後、提出議案を予算決算委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、予算決算委員長から付託議案について審査結果の報告があった後、採決の結果、可決しました。次に、委員会発議案2件が提出され、提案説明を行い、委員会発議案第5号に対して3名の議員が討論を行った後、採決の結果、委員会発議案2件はいずれも可決しました。

最後に、2月20日までを休会とすることを決定し、散会しました。

各委員会での主な議案審査状況

産業建設委員会

議案第73号 指定管理者の指定について



12月12日

労働福祉会館の次期指定管理者の選定について

【概要】 鈴鹿市労働福祉会館における現在の指定管理者の指定の期間が令和5年3月31日に満了することから、令和5年4月1日から令和10年3月31日までの期間の指定管理者を指定しようとするもの。

質疑 指定管理者となる団体の選定に当たり、どのような議論がなされたのか。

答弁 公の施設の指定管理者選定委員会による答申では、築後40年を経過していることから老朽化対策が課題であるとの指摘があった。また、指定管理者を公募した結果が1社のみ応募であったことから、当該団体が指定管理者の候補者として適切であるかの審査が行われ、総合ビル会社としての経験およびノウハウを持つことから、適切な維持・保守が期待できると評価され、選定に至った。